



「医療専攻」たより

新潟県立小出高等学校 キャリア教育委員会
Vol.1 令和3年5月11日

令和3年4月23日（金）の開講式から、2年生医療専攻選択者、37名の医療専攻の学習が始まります。開講式のプログラムには、生徒一人ひとりの医療専攻への抱負が記されています。その一部を紹介します。

私は常に患者さんに寄り添える看護師になりたいです。心と体の両方を支え、患者さんに安心して少しでも苦痛を減らしてもらえたらいいなと思ったからです。医療専攻を通して、実際に医療の現場と向き合っている方々のお話を聞き、どのような心構えで日々お仕事をされているかを学びたいです。

私は、誰からも頼られる薬剤師になりたいと考えています。理由は医者や看護師なども人を助ける仕事だが、薬も立派に助けていると考え、小さな粒で人を助けられるという点に魅力を感じたからです。医療専攻では、自分の知らない薬をたくさん調べて、知識を増やしていきたいと考えています。

私の目指している職種は、診療放射線技師です。手術などで手が出せない難病を見つけ、放射線で治して難病者を笑顔にできるような放射線技師になりたいです。私は、医療専攻で私の目指していることが少しでもわかるようにしたいです。



○医療専攻開講式

地域医療魚沼学校 校長 布施 克也様のご臨席のもと、医療専攻開講式を行いました。開講式は、梶校長の激励の言葉から始まりました。生徒たちは梶校長の言葉に医療専攻の学習の意義を再確認していました。

○医療講演会「医療人を目指すみなさんへ」 魚沼市立小出病院 院長 布施 克也 様

講演会は、「憲法25条—生存権」から始まりました。「人々の生存権を守るためには、生活の場にいる地元の人間が専門技術を身に付け、困っている人を支えなければなりません」という言葉は、地元の医療を支えてほしいという想いが込められていると感じました。

次に、医療者の想いとして15の「**医療者の倫理綱領**」を、をわかりやすくお話していただきました。



- 1 **医療者は生命・尊厳・権利を尊重する**—医療の人間は、患者さんの心に刺さった「串」を取り除きたいと願う人たちである。命の最期を迎えつつある患者さんにできることは、そばにいて、最期まで「存在」を肯定し続けること。
- 2 **医療者は差別しない**—一人の命の重さには差がない。「どちらの生命のほうが危機にさらされているか」が医療の判断基準。
- 3 **医療は信頼に応える**—医療人は「信頼されている」という強い責任感のもと行動する。
- 4 **医療者は自己決定権を尊重する**—医療人は、患者さんの判断や選択が、その人にとって最良のものとなるように支援する。
- 5 **医療者は秘密を守る**—医療者が最も大切にする価値は「信頼」。それを裏切らない。

- 6 **医療者は患者の安全を守る**—医療者は患者さんの生命や尊厳が脅かされないよう行動する。
- 7 **医療者は法的責任の下で活動する**—医療者が実践する業務は法的に規定されており、逸脱してはならない。
- 8 **医療者は学び続ける**—専門職としての研鑽に励み、能力の維持・開発に努めることは医療者の責務である。
- 9 **医療者は協働する**—医療者は協働する他専門職と対等な関係で、連携し、**One Team**を作りあげる。
- 10 **医療者は自律する**—医療者は権威におもねることはない。自律性（オートノミー）を持っている。
- 11 **医療者は研究する**—医療人は現場で得た知識や技術を発信し、評価をもらう。一人ひとりが研究者である。
- 12 **医療人は自身の健康を守る**—他人のために働くためには、自分自身の心と身体が健康でなければならない。自分の健康を守ることは医療者の義務である。
- 13 **医療人はスマートな社会人になる**—医療者は信頼されるよう、個人の品行を高く維持する。
- 14 **医療人は安全な環境づくりを目指す**—医療人は人々の健康を保持増進し、疾病を予防する責任を担う。
- 15 **医療人は社会づくりに貢献する**—医療人は社会全体の安心と安全を願う。

講演の最後に、布施院長は「忘己利他（もうこりた）」という言葉を生徒たちに伝えてくださいました。それは、「己を忘れて他のために尽くす」ということ。「医療人は、『患者さんのために』という行動を自然にとれたとき、喜びを感じる。医療専攻でいろいろなことを学び、経験し、将来そのような医療人になってください」、と激励していただきました。



質疑応答

- **立派な医療従事者になるために今から勉強しておくべきことは何ですか。**
—損得ではなく、何事も経験してみる。視野を広げ、人を理解することが大切。
- **布施院長自身がこれまで医療従事者としてやりがいを感じた瞬間はどのようなときですか。**
—勤務していた病院の診察料の未納金がゼロだったとき。それは、**医療が地域住民を支え、地域住民から信頼されている**ということ。
- **患者さんと接するとき、一番気をつけていることはどんなことですか。**
—患者さんに**敬意**を払うこと。人間として接すること。



生徒の感想

- ・医療の現場は**大切な命と向き合う**ところです。そこでは、間違っていることは「間違っている」とはっきり言わなければなりません。「今回失敗してしまったけれど、次がんばればいいや」なんて絶対に思ってはけません。命はそれぞれ一つしかないのだから、その大切な命を守りたいと今回の講演を聞き、より強く思うようになりました。
- ・今回の講演会で一番印象に残っている言葉は、“**Nurses may not be angels, but they are the next best thing**”という言葉では。看護師は天使ではない、でもその次くらいの存在になりたい、という意味なんだそうです。とてもいい言葉で印象に残っています。この講演会でより、医療という仕事の魅力を感じました。これからもしっかりと学び続け、立派な医療者になれるよう努力していきたいです。
- ・患者さんから**信頼**される看護師になるには**責任感**を持った人間にならなくてはいけない、ということがわかりました。将来、患者さんが心の中を話せて、**安心できる**と思ってもらえるような看護を将来したいです。